

※ 必ず両面印刷してください ※

別表

住宅耐震改修証明申請書

申請される方(耐震改修した家屋の所有者)の情報を記入してください。

申請者 住所
電話
氏名

家屋の所在地

所得税特別控除に対象の方は「イ」に○、
固定資産税減額に対象の方は「ロ」に○、
両方の方は「イ」・「ロ」の両方に○をしてください。

工事が完了したを記入してください。

上記家屋に係る住宅耐震改修が完了した日

年 月 日

イ 上記家屋が(1)の要件を満たすこと及び当該家屋に係る住宅耐震改修(租税特別措置法第41条の19の2第1項に規定する住宅耐震改修をいう。以下同じ。)の費用の額が(2)の額であったことについて証明願います。

(1)	住宅耐震改修をした家屋であること	
(2)		円
(2)	1. (イ) 当該住宅耐震改修に係る耐震工事の標準的な費用の額 …裏面または須崎市ホームページにある計算表を参考にしてください。	
		円
	2. (ロ) 当該住宅耐震改修に係る補助金等の交付の有無 …「有」に○をしてください。	
		円
	3. 交付される補助金等の額 …市から受けた補助金額を記入してください。	
		円
	この他は表の説明に従って記入してください。	
		円
(ト)	(ホ)又は(へ)のいずれか少ない金額(5%控除分)	円

ロ 上記家屋において、地方税法施行令附則第12条第19項に規定する基準に適合する耐震改修が行われたことを証明願います。

この申請書と一緒に、「補助金交付決定通知書の写し」を提出してください。
また、郵送の場合は84円切手を貼った返信用封筒を同封してください。

※2枚目以降は記入不要です※

イ-(2)-(イ) 当該住宅耐震改修に係る耐震工事の標準的な費用の額の算出方法

令和2年1月1日以降に耐震改修工事を行った場合					
工事区分	金額		面積(m ²)		算出金額
基礎工事(建築面積)	15,400 円	×		=	円
壁工事(延床面積)	22,500 円	×		=	円
屋根工事(施工面積)	19,300 円	×		=	円
その他(延床面積)	33,000 円	×		=	円
合計 (標準的な費用の額)					円

令和元年12月31日までに耐震改修工事を行った場合					
工事区分	金額		面積(m ²)		算出金額
基礎工事(建築面積)	15,900 円	×		=	円
壁工事(延床面積)	23,400 円	×		=	円
屋根工事(施工面積)	20,200 円	×		=	円
その他(延床面積)	34,700 円	×		=	円
合計 (標準的な費用の額)					円

平成26年3月31日までに耐震改修工事を行った場合					
工事区分	金額		面積(m ²)		算出金額
基礎工事(建築面積)	16,200 円	×		=	円
壁工事(延床面積)	23,800 円	×		=	円
屋根工事(施工面積)	20,500 円	×		=	円
その他(延床面積)	35,900 円	×		=	円
合計 (標準的な費用の額)					円